



令和6年6月20日
北九州市保健福祉局
【配布資料】

大都市 × 高齢化 × テクノロジー

未来の介護 大作戦

第1弾

【問合せ先】

■ 先進的介護「北九州モデル」の推進

■ 「未来型介護モデル施設」の整備

保健福祉局先進的介護システム推進室

・担 当：馬場、秋吉 ・連絡先：093-582-2712

■ (仮)「テクノケア北九州」～ラクなケア～の開設

保健福祉局地域リハビリテーション推進課

・担 当：宮永、福田 ・連絡先：093-522-8724

『未来の介護大作戦』について

政令指定都市の中で最も高齢化が進んでいる北九州市では、介護人材不足を見据え、全国に先駆け、テクノロジーを活用した介護現場の業務改善手法である「北九州モデル」を構築し、これまでに先進的介護「北九州モデル」の導入支援・普及促進に取り組み、介護現場の負担軽減、介護の質向上の実現に貢献してきました。

今後も、北九州市が日本をリードし、先駆的なアプローチで様々な課題解決を図るため、既存の事業・施策に新たな取り組みを加えた「未来の介護大作戦」を始動します。

この「未来の介護大作戦」の取り組みにより、今年4月に策定した新ビジョン（基本構想・基本計画）の重点戦略である「安らぐまち」、「稼げるまち」の実現に繋げていきたいと考えています。

将来的には、北九州市の様々な取り組みを世界に発信することで、高齢化・介護人材不足等の課題に直面する多くの国の課題解決への貢献と、国際ビジネスの推進を目指します。

【目次】

○北九州市は高齢化大都市のフロントランナーへ・・・P.2

○先進的介護「北九州モデル」とは・・・P.3

○本題・・・P.11

1 先進的介護「北九州モデル」の推進

2 「未来型介護モデル施設」の整備

3 (仮称)「テクノケア北九州」～ラクなケア～の開設

～参考～

○施設取材について・・・P.16

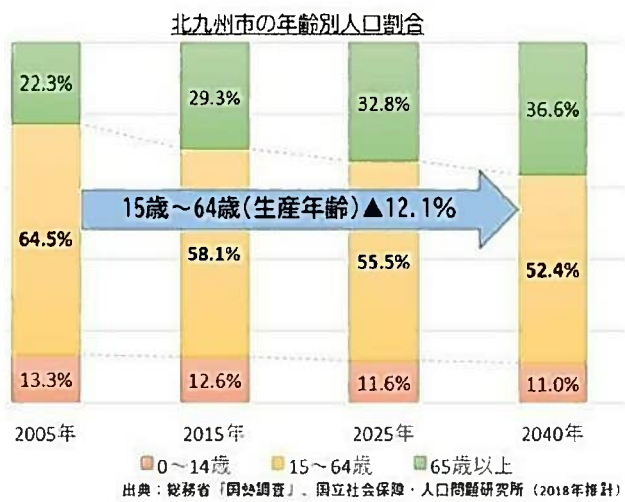


北九州市長 武内 和久

北九州市は高齢化大都市のフロントランナーへ

- **高齢化率 政令市1位 31.2%** (2023.1.1)
- **人口の約3人に1人が高齢者** (65歳以上) **約29万人** (2023.1.1)
- **85歳以上は2040年まで増加** (2020年 5.1万人 → 2040年 8.1万人)

介護人材を取り巻く現状



【出典】令和3年度 介護労働実態調査

先進的介護「北九州モデル」とは



テクノロジーを活用した業務改善手法 >>> 北九州モデル

北九州モデルの核心（実践プロセス）

STEP
1

業務の見える化・仕分け



状況確認、対応、記録など
多種・細切れの業務を分析



STEP
2

ICT・介護ロボット等の選定



センサーで見守、インカムの活用 等



STEP
3

業務オペレーション整理



業務時間を **35%** 効率化

ポイント 

上記3ステップの具体的なノウハウをパッケージ化

北九州モデルの
提供価値

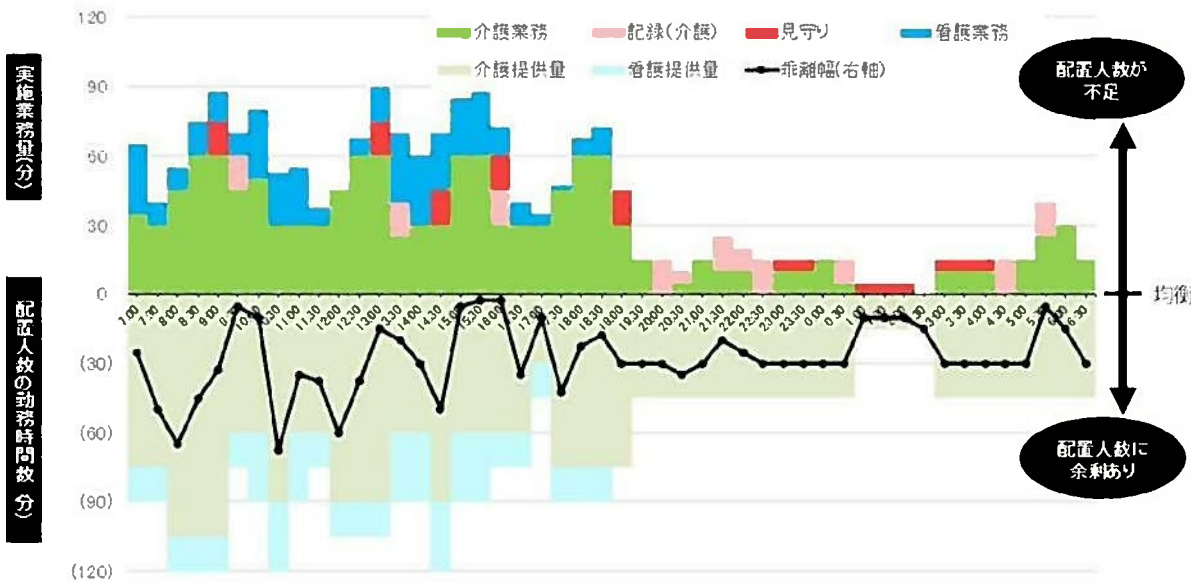
「時間を生み出す介護」

北九州モデルの実践



STEP
1

業務の見える化・業務仕分け



- ・ 介護施設で実施している
介護・看護業務を専・非専分類
- ↓
- ・ 分類した業務と配置人員を比較
⇒ **課題となるテーマを抽出**

北九州モデルの実践



STEP 1

業務の見える化・業務仕分け

	業務整理	外部連携	テクノロジー活用
記録 PC操作	<ul style="list-style-type: none">記録が必要な情報転記すべき項目		<ul style="list-style-type: none">記録システムの改善
夜間巡回			<ul style="list-style-type: none">見守り機器の活用検討ナースコール使用方法検討
業務実施の 時間帯	<ul style="list-style-type: none">目的と内容の整理業務実施時間検討	<ul style="list-style-type: none">業務分担の整理 ・パート ・委託業者外部人材の活用	
移動 職員間連絡		<ul style="list-style-type: none">移動を補助するスタッフの配置	<ul style="list-style-type: none">インカム等使用による効率的な連携

課題テーマごとに、施設の実情に合った解決の方向性を議論

北九州モデルの実践



STEP
2

ICT・介護ロボット等選定

施設の課題や実情に合った機器の選定

センサーによる
居室見守り（夜間）



抱えないケア



非専門的業務の
アウトソーシング



ワンスマホでの作業



北九州モデルの実践



STEP 3

業務オペレーション整理



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
介護1	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休	日	休
介護2	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休	日	休
介護3	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休	日
介護4	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休	日
介護5	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休
介護6	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休
介護7	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休
介護8	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明	休
介護9	休	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明
介護10	休	日	休	夜	明	有	日	休	夜	明	休	日	休	夜	明



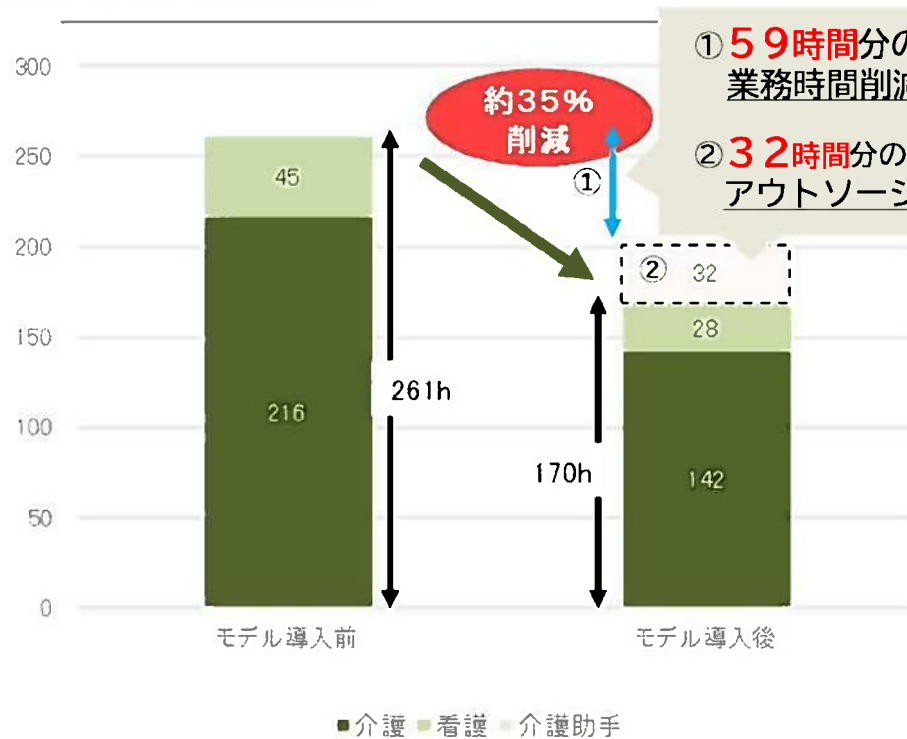
- **テクノロジーを活用した
新しい業務手順の整理**
- 時間帯ごとの業務量バランスを
考慮した、業務時間調整
- 非専門的業務の実施時間調整
- 勤務シフトの調整

北九州モデル実践の効果①



効果 1

生産性の向上



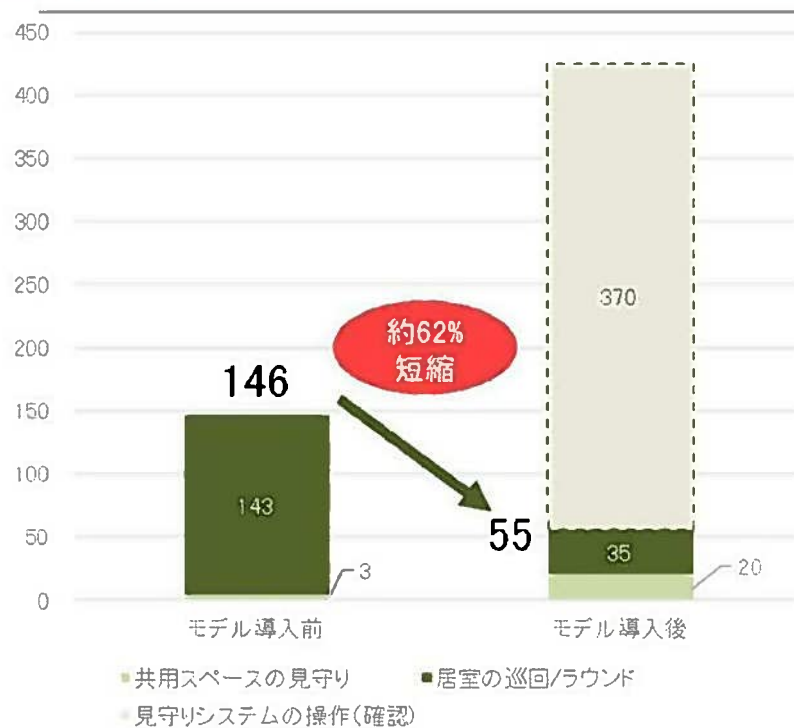
- ・ 介護・看護職の業務時間が**35%**削減

北九州モデル実践の効果②



効果2

テクノロジーで見守る



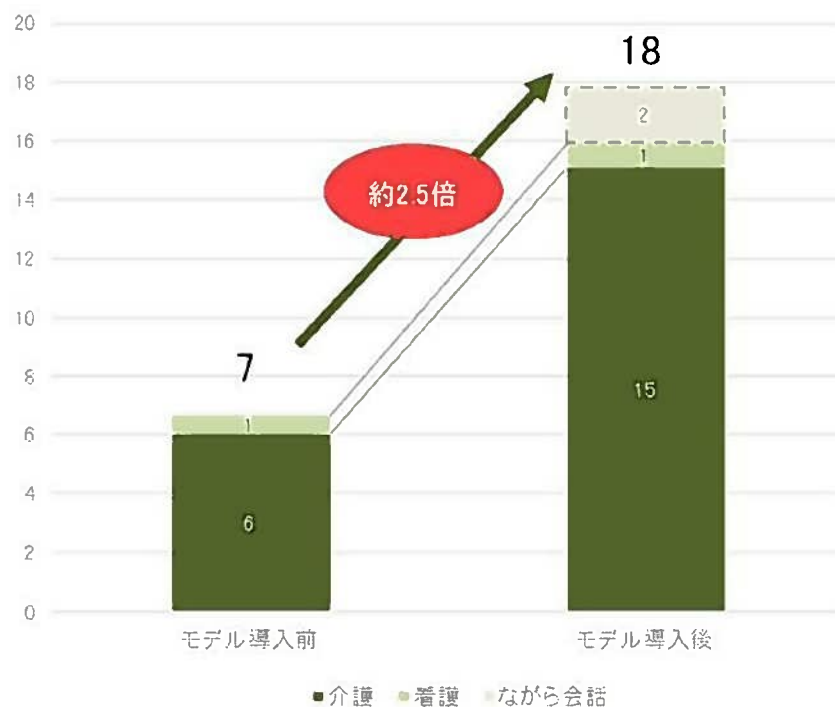
- ・ 夜間の居室定時巡回を廃止
⇒ 画像と生体センサによる見守りへ変更
- ・ 利用者の起床時に訪室してケア
- ・ 常時、異変に気付け、睡眠の質も向上

北九州モデル実践の効果③



効果3

コミュニケーションが増加



- ・職員1人あたりの利用者との会話時間が**2.5**倍に増加
- ・人員配置が減ったにもかかわらず、アクシデントの発生なし
- ・利用者のQOL、職場環境に大きな変化なし

1 先進的介護「北九州モデル」の推進

テクノロジーを活用した業務改善手法 >>> 介護現場の負担軽減・介護の質向上を実現

市内施設での導入成果

舞ヶ丘
明静苑

介護記録のデジタル化

施設に合った介護記録システムの導入により
介護記録に要する時間 **最大50%減**

第二
わかば

見守りセンサーの
有効活用

夜勤帯のラウンド回数 **半減**

プロムナード
とばた

業務効率化による
残業時間の抑制

当初見込みより
残業時間(月当たり) **約600時間抑制**

現モデルの
更なる発展

在宅版「北九州モデル」の構築

高齢者が自宅でも安全に安心して過ごせる環境とサービスの構築

2025年
以降

～～「北九州モデル」の導入状況～～

「北九州モデル」の普及

➤ 2021年から市内施設で15施設が導入済、現在5施設支援中



先進介護は海外からも注目

➤ アジアトップ大学の学生や海外の介護・福祉関係者が視察のため来北



中国・清华大学



中国の介護事業所経営者等

2 「未来型介護モデル施設」の整備

先進的介護「北九州モデル」の確立 **➤** 具現化した施設整備による**発信力の強化**
(特定施設入居者生活介護)



未来型介護を体現するモデル施設

北九州市と一緒に、一歩先の介護を築く事業者の応募をお待ちしています

整備事業者公募

7月

3 (仮称)「テクノケア北九州」～ラクなケア～の開設

介護実習・普及センター (福祉用具プラザ)

アシスト1階
(小倉北区馬借)



介護ロボット等導入支援・普及促進センター

- ・福祉用具や介護ロボットなどの**生活場面展示**で、具体的な利用をイメージ化
- ・専門家（リハ専門職、介護福祉士、社会福祉士、看護師）による多様なニーズへの**ワンストップ対応**
- ・リハ専門職等による訪問支援を拡充し、**在宅生活を支える支援拠点**として強化
- ・介護知識から介護テクノロジー（福祉用具・介護ロボット・ICT等）まで充実した研修・講座

7月頃公募

指定管理

2025年夏頃 **オープン予定**

福祉用具やテクノロジーを使ってケアする人もケアされる人も「ラクなケア」のプラットフォーム

“未来の介護大作戦”
を始動！

世界をリードする**介護先進都市**へ

》 3つの取組の柱

第1弾

Field

- 「北九州モデル」の推進
- 「未来型介護モデル施設」の整備
- (仮称)「テクノケア北九州」の開設

Person

- 外国人介護人材の育成支援
- 若手介護人材確保に向けた対策の強化

Coming soon

Global

- 海外とのネットワーク強化

Coming soon